

経済産業省のAI政策のご紹介

令和8年7月

商務情報政策局 情報産業課 AI産業戦略室

高市政権の成長戦略

- 「強い経済」実現のため、AI・半導体、デジタル・サイバーセキュリティ、造船、量子等の17の戦略分野ごとに、今夏を目途に投資内容、時期、目標額等を含めた「官民投資ロードマップ」と成長戦略を策定。

第221回国会における高市内閣総理大臣施政方針演説（26年2月20日）

我が国の潜在成長率は、主要先進国と比べて低迷しています。しかし、技術革新力や労働の効率性などを表す数値は、他国と遜色ありません。日本人には底力があります。圧倒的に足りないのは、資本投入量、すなわち国内投資です。その促進に徹底的なてこ入れをします。

経済安全保障、食料安全保障、エネルギー・資源安全保障、健康医療安全保障、国土強靱（きょうじん）化対策、サイバーセキュリティなどの様々なリスクを最小化する「危機管理投資」。AI、半導体、造船などの先端技術を花開かせる「成長投資」。これらにより、世界共通の課題解決に資する製品・サービス・インフラを開発し、国内外に提供することで、日本の成長につなげていきます。

（中略）

量子、航空・宇宙、コンテンツ、創薬などの17の戦略分野については、大胆な投資促進、国際展開支援、人材育成、研究開発、産学連携、国際標準化、防衛調達を含む官公庁による調達、規制・制度改革といった、供給及び需要の両面にアプローチする多角的な観点からの総合支援策を講じます。特に、先端技術や成長が期待される分野の官民投資ロードマップについて、来月から提示していきます。



首相官邸HPより

AI・半導体分野への2030年度までの継続的な支援

- 2030年度までの7年間で10兆円以上のAI・半導体支援を実施し、これを呼び水に、今後10年間で50兆円を超える国内投資を官民協調で実現する（2024年11月22日閣議決定）。

（参考）これまでの予算額：7,740億円（FY2021）、約1.3兆円（FY2022）、約1.1兆円（FY2023）、約1.5兆円（FY2024）

支援規模

● 補助・委託等 6兆円程度

- 次世代半導体研究開発
- 半導体量産投資 等

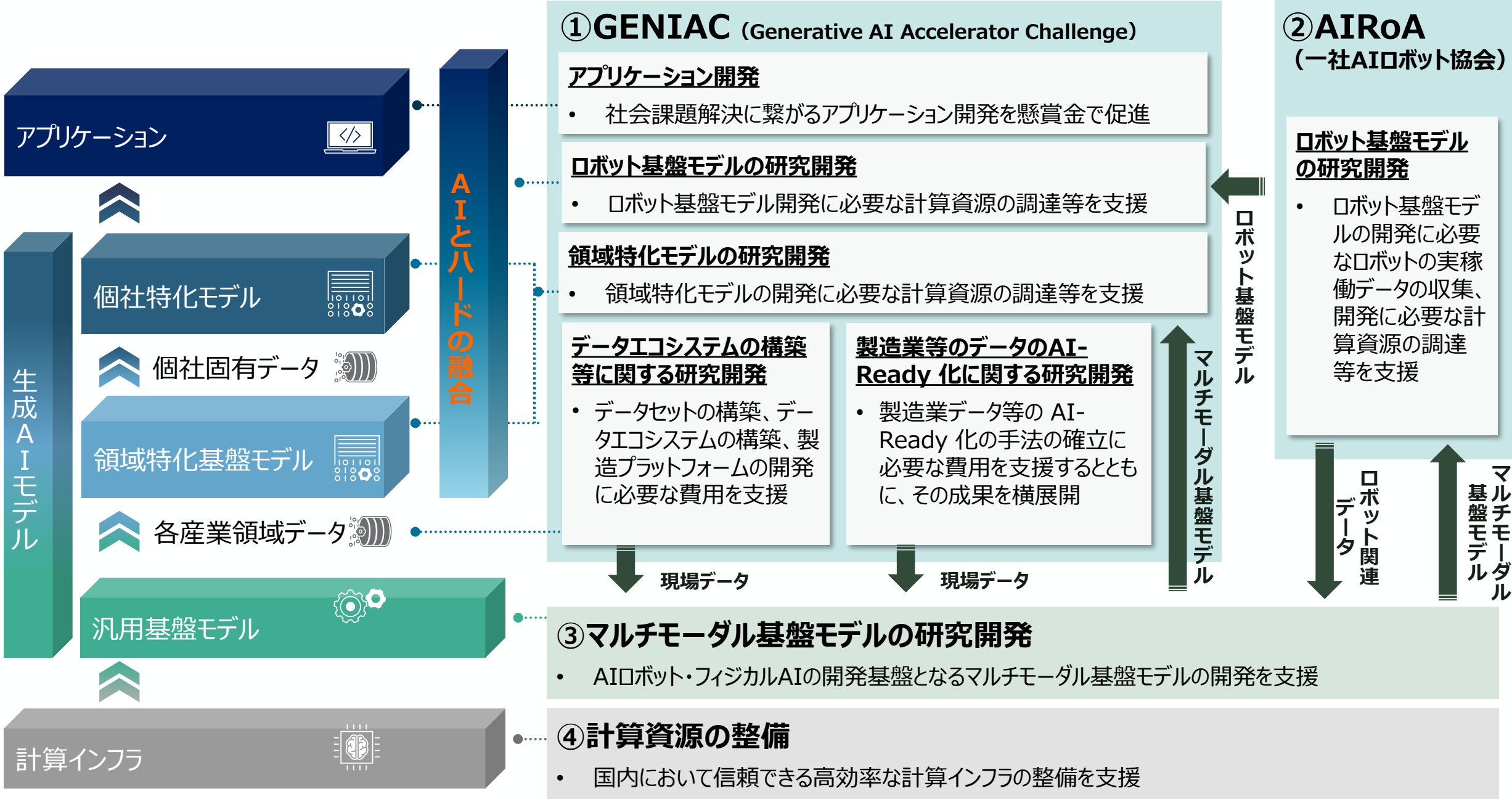
● 金融支援（出資・債務保証等） 4兆円以上

- 次世代半導体量産投資
- AI利活用に向けた計算基盤整備 等

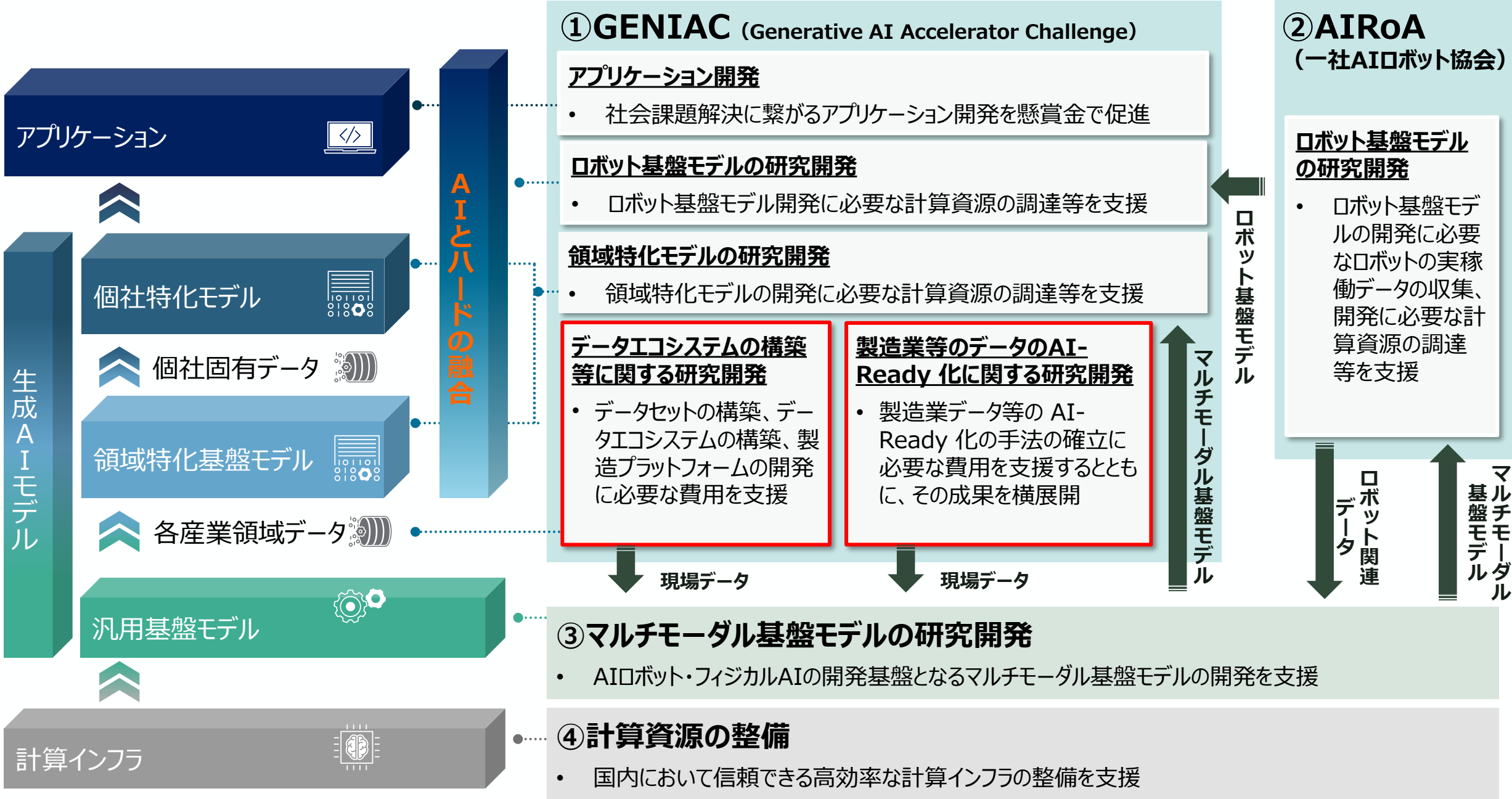


AI
・
半導体関連産業

AI開発・データ整備支援策の全体像

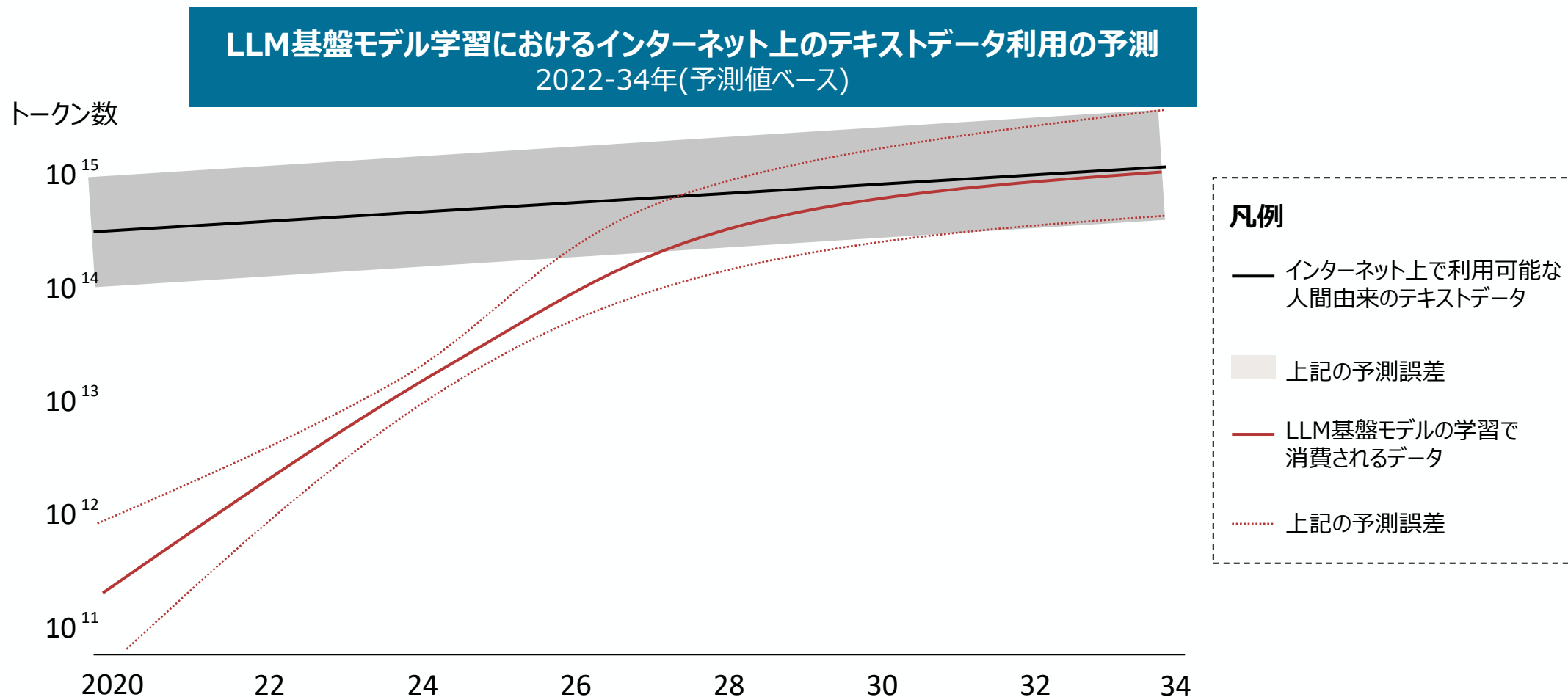


AI開発・データ整備支援策の全体像



学習データ枯渇問題

- これまでインターネット上の大量のテキストデータを学習し、進化してきた生成AIも、**「学習データの枯渇」**が大きな問題に。



(出典) Epoch AI. "Will We Run Out of Data? Forecasting Dataset Size for Language Models." Technical Report, June 2024

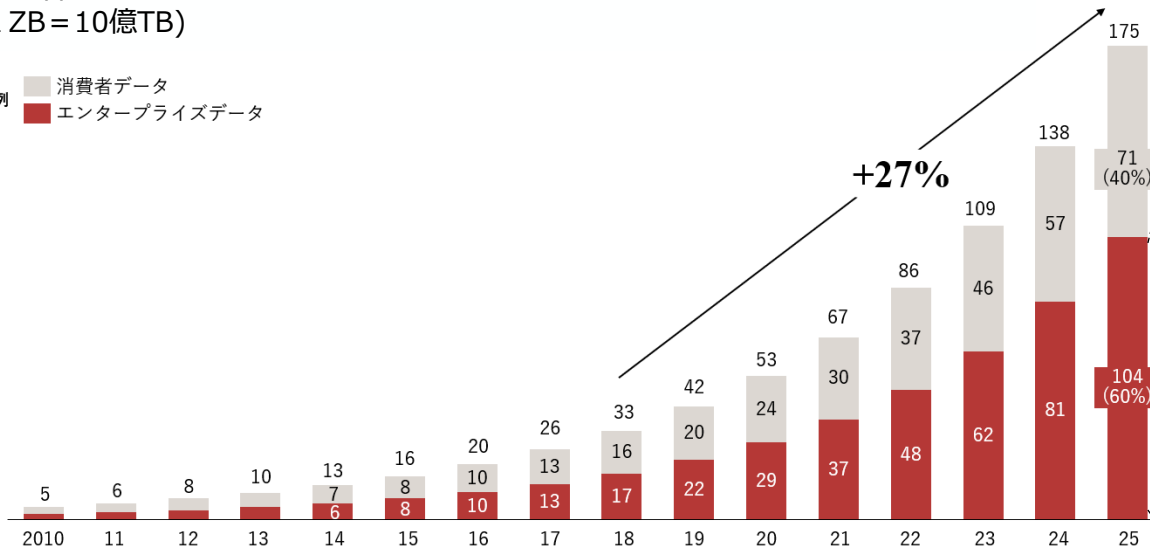
今後は企業内データの利活用が鍵

- 今後は、全世界で流通するデータの**6割を占める企業内データ（＝エンタープライズデータ）**の利活用が産業戦略上の**焦点**となり、**生成AIの高度化・マルチモーダル化のためにも重要**。
- 特に、エンタープライズデータの**2割以上を占める製造分野**は、**製造業に強みを有する我が国にとってデータ活用のポテンシャルが非常に高い**。

年間のデータ量（世界中で創出・取得・複製・消費されるデータ量）の推移 2010-25年（予測値ベース）

ゼタバイト
(1 ZB = 10億TB)

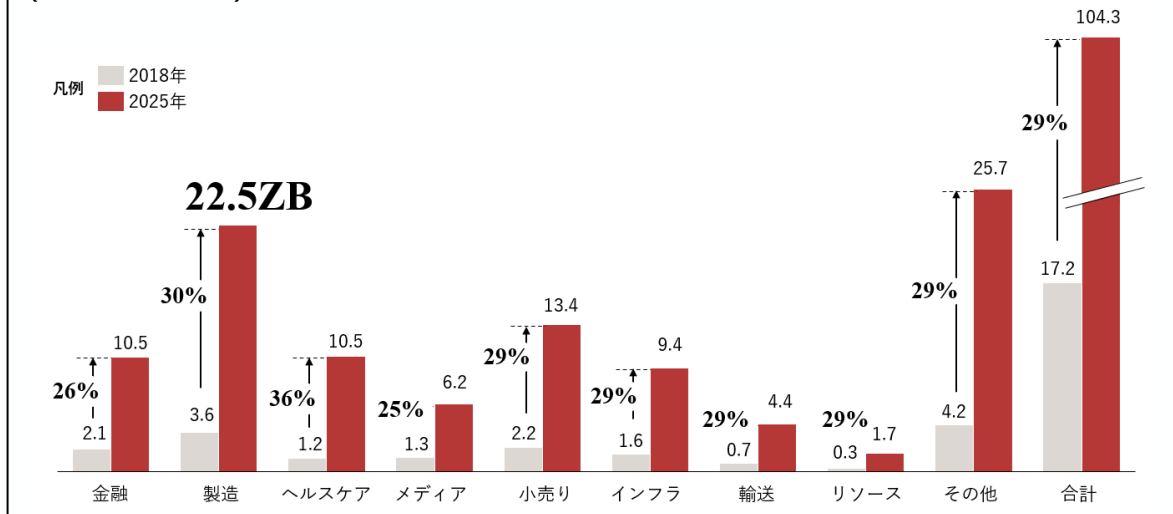
凡例
■ 消費者データ
■ エンタープライズデータ



エンタープライズデータ量の比較 2018年 対 2025年（予測値ベース）

ゼタバイト
(1 ZB = 10億TB)

凡例
■ 2018年
■ 2025年



(出典) The Digitization of the World From Edge to Core – IDC

(注) 左図：IDCレポート内では、2018年に32ZB、2025年に175ZBのみ定量推測データが公開。上記グラフではCAGRを算出後、同一ベースで成長すると仮定し、2010年以降のデータを算出。

右図：2025年のデータについて、全体・金融・製造・ヘルスケア・メディアはレポート記載のCAGRをもとに算出し、その他産業は左記CAGRの平均値から算出。

現場データのAI-Ready化に関する研究開発 直近の採択者

採択者名		開発概要
 FLYWHEEL	株式会社フライウィール	企業内データのAI活用準備度を測る指標、VLMによる論理構造付与等を行うデータ構造化エンジン、データとAIアプリケーションとのインターフェースの機能を有するアーキテクチャを構築
 Stockmark	ストックマーク株式会社	VLMによる論理構造付与等のデータ構造化、ヒアリングエージェントによる暗黙知の形式知化、データと業務の紐づけ、機密文書のガバナンス機能の実装フレームワークを構築
 SYNTHETICGESTALT	SyntheticGestalt 株式会社	異なる形式で管理されている化合物データを、オープンソースと自社モデルを組み合わせ、AI が直接活用可能な高品質ベクトル表現に変換するデータ構造化エンジンを構築
 FastLabel	FastLabel 株式会社	マルチモーダルデータの収集手法、キャプションデータとしての意味付け等、暗黙知データの構造化手法、暗黙知を活用するAIモデルの精度評価手法、データ収集支援システムを開発
 Fairy Devices	FairyDevices 株式会社	製造業における巡回型作業について、作業結果のみならず作業過程を階層的に意味単位へ分解し、AIが学習可能な、時系列構造を保持したデータへ構造化するプロセスを確立
 Aixtal	アイクリスタル株式会社	標準フォーマットが存在しない製造プロセスデータについて、物理的なメカニズムや現場の情報を自動で紐づけて構造化するAIエージェントと、データの処理が可能なプラットフォームを開発
 AIONA	AIONA株式会社	LLMを活用したメタデータ抽出等による設計コンテキスト情報の構造化、画像やCAD等マルチモーダルデータのベクトル化を自動化する手法を開発
 HITACHI	株式会社日立製作所	セマンティクス管理、データモデル変換、完全性検証等の機能を開発し、それらを疎結合に統合したアーキテクチャを構築
 Hutzper	株式会社フツパー	システム改修なしでAIがデータソースにアクセス可能とするインターフェース、分断されたデータを接続する因果探索フレーム、設計・製造実行・品質の各データの構造化機能を備えた基盤を構築

データエコシステム構築 直近の採択者

採択者名	分野	開発概要
 神戸大学	医療	手術ロボットのログとステレオ内視鏡映像を統合し、複数施設で熟練医手術による症例のマルチモーダルデータセットを構築
 Kawasaki	製造	川崎重工業・安川電機・ファナック共同で、製造現場の手先作業を対象に約5,000時間の触覚・視覚・動作のマルチモーダルデータセットを構築
 STATION Ai	製造	製造業の実作業を対象に、約8,000時間の作業者目線マルチモーダル（主観映像+手の位置情報データ）及び約2,000時間のロボット動作データセットを構築
 DMG MORI	製造	協力企業約100社の生産設備から設備状態・加工・品質・周辺設備データを企業横断で収集し、100TB規模のデータセットを構築
 KOMATSU	製造	10以上の工場・600台以上の生産設備から工場システムの実績データを収集し、6種類以上（工程・資源制約・生産計画・生産実績等）のデータセットを構築
 ELEMENTS	製造	工場・素材メーカーと協力し、約10,000件の設計図面・製造ログ、約1,500時間の熟練作業動画・解説音声データを収集し、合成データと組み合わせたマルチモーダルデータセットを構築
 AIRoA AI Robot Association	家庭	Woven City等の実家庭35世帯にロボットを配備し、約7,000時間のロボット動作データセットを構築
 家事代行のベアーズ Bears	家庭	約10,000時間の家事代行の熟練スタッフの一人称行動を大規模に収録し、家庭向けフィジカルAI開発に資するデータセットを構築
 法政大学 HOSEI University	インフラ	全国37.8万km ² の局所三次元空間データ（1mズーム）・合計500件以上のインフラ点検データ・10万シーン以上の特殊環境（下水道管・トンネル・橋梁下部等）の空間データ収集し、日本のインフラAIを支えるデータセットを構築

データエコシステムの構築 採択者

- 企業や組織が保有する多様かつ大量の実データを複数企業間で適切に集約・利活用するための仕組み（データエコシステム）の構築をGENIAC事業で支援。（7月2日に9事業者を採択）

採択者名	分野	取組概要
 神戸大学	医療	手術ロボットのログとステレオ内視鏡映像を統合し、複数施設で熟練医手術による症例のマルチモーダルデータセットを構築
 Kawasaki	製造	川崎重工業・安川電機・ファナック共同で、製造現場の手先作業を対象に約5,000時間の触覚・視覚・動作のマルチモーダルデータセットを構築
 STATION Ai	製造	製造業の実作業を対象に、約8,000時間の作業者目線マルチモーダル(主観映像+手の位置情報データ)及び約2,000時間のロボット動作データセットを構築。
 DMG MORI	製造	協力企業約100社の生産設備から設備状態・加工・品質・周辺設備データを企業横断で収集し、100TB規模のデータセットを構築
 KOMATSU	製造	約10以上の工場・600台以上の生産設備から工場システムの実績データを収集し、6種類以上（工程・資源制約・生産計画・生産実績等）のデータセットを構築
 ELEMENTS	製造	工場・素材メーカーと協力し、約10,000件の設計図面・製造ログ、約1,500時間の熟練作業動画・解説音声データを収集し、合成データと組み合わせたマルチモーダルデータセットを構築
 AIRoA AI Robot Association	家庭	Woven City等の実家庭35世帯にロボットを配備し、約7,000時間のロボット動作データセットを構築
 家事代行のベアーズ Bears	家庭	約10,000時間の家事代行の熟練スタッフの一人称行動を大規模に収録し、家庭向けフィジカルAI開発に資するデータセットを構築
 法政大学 HOSEI University	インフラ	全国37.8万km ² の局所三次元空間データ（1mズーム）・合計500件以上のインフラ点検データ・10万シーン以上の特殊環境（下水道管・トンネル・橋梁下部等）の空間データ収集し、日本のインフラAIを支えるデータセットを構築

データエコシステムの構築 採択社例① 川崎重工業

ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／データエコシステムの構築等に関する研究開発（GENIAC）

製造現場視触覚データ収集によるVTLA基盤モデルに向けたデータセットの構築

データセット概要

本データセットは繊細な接触制御を伴う作業に対応するVTLAモデル向けに、**処理済み約5,000時間のデータを整備する**。キッティング、柔軟物ハンドリング、コネクタ嵌合などの現場から**約18,000時間の画像・触覚データ・ロボット動作データなどのマルチモーダルなデータを収集し、視触覚同期、ラベリング、匿名化、フォーマット変換などの処理**を施す。

	データ収集	データセット	提供先
量	約18,000時間	約5,000時間	AIロボット・ フィジカルAIを見据えた マルチモーダル基盤モデル開発事業者
質	現場データ（生データ） 歩留まり率30%程度を想定 ・ 未確立状態からの技術確立も含めた推進（VTLAモデル設計、データセット設計、データ収集方法） ・ 触覚データ自体の扱いが難しい ※参考：一定確立されたVLAモデル向けのデータの歩留まり率は一般的に40%程度	学習に利用可能なデータ（処理済・品質管理済のエピソードデータ） VTLA等の触覚系の基盤モデルが学習可能 マルチモーダルデータ間の時刻同期 タスクの成否判定のラベル付 フレーム欠損がモデル学習可能範囲内 匿名化・権利処理済	プロジェクトに 参画する企業・大学
種類	収集現場  自動車、ロボット、食品、日用品などの製造工場 対象タスク  多様な形状 柔軟物 滑り キッティング、柔軟物ハンドリング、コネクタ嵌合といった、多様な形状・柔軟性・滑りなどへ対応するために触覚情報が重要なタスク	データ種類  作業の画像 データ 触覚 ロボット動作データ 画像・触覚データ（接触力・滑り・接触画像など）・ロボット動作データなどのマルチモーダルなデータ	国内等の企業/大学等(利用者・目的ごとのデータ公開強度・アクセス権限を区分)

ユースケースごとに分割し有償提供・持続性・利用性

データエコシステムの構築 採択社例② Station Ai

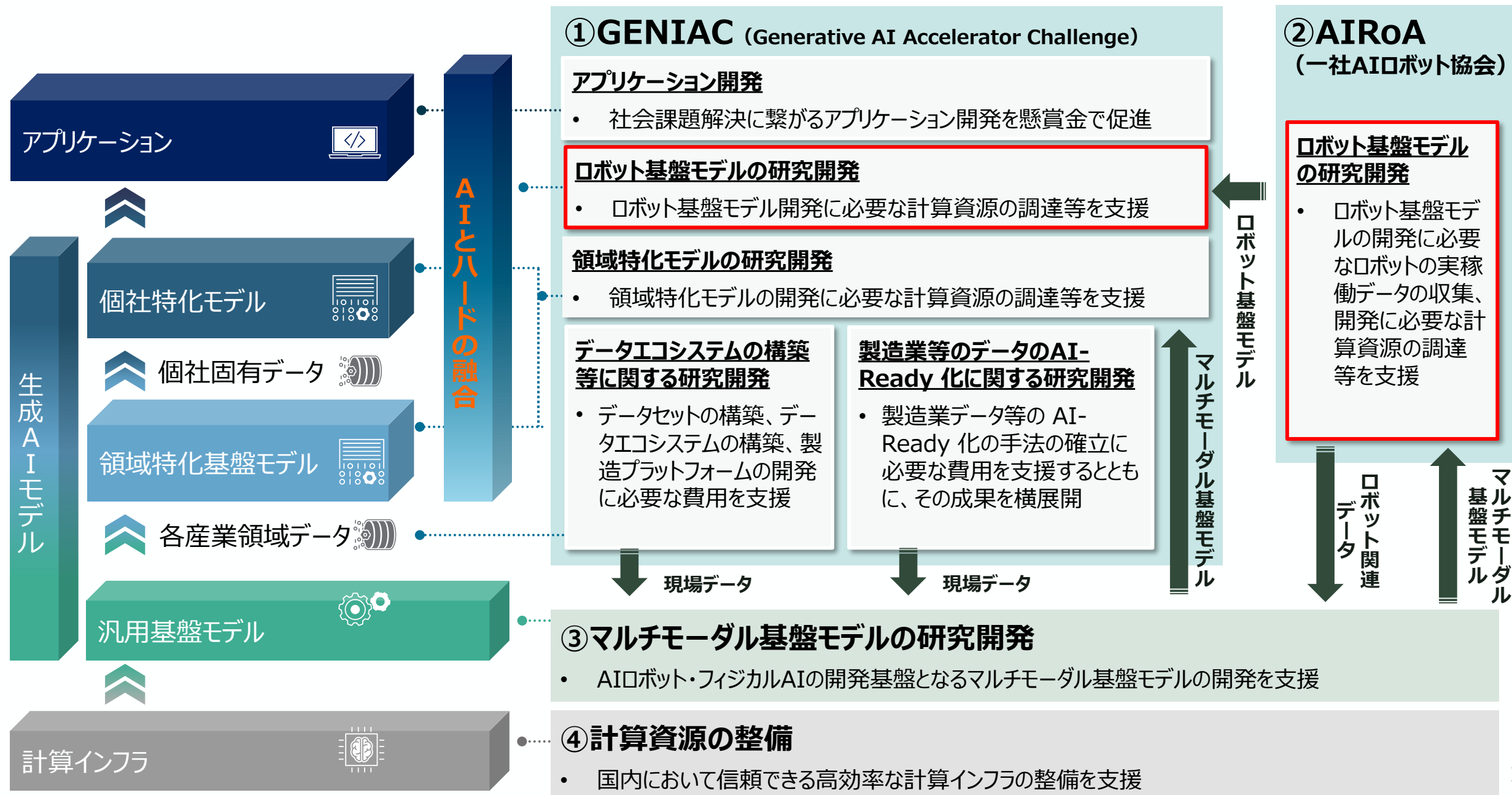
ポスト5 G情報通信システム基盤強化研究開発事業／データエコシステムの構築等に関する研究開発（GENIAC）

作業者マルチモーダルデータ収集による製造業向けフィジカルAIロボット活用のためのデータエコシステム構築

データセット概要

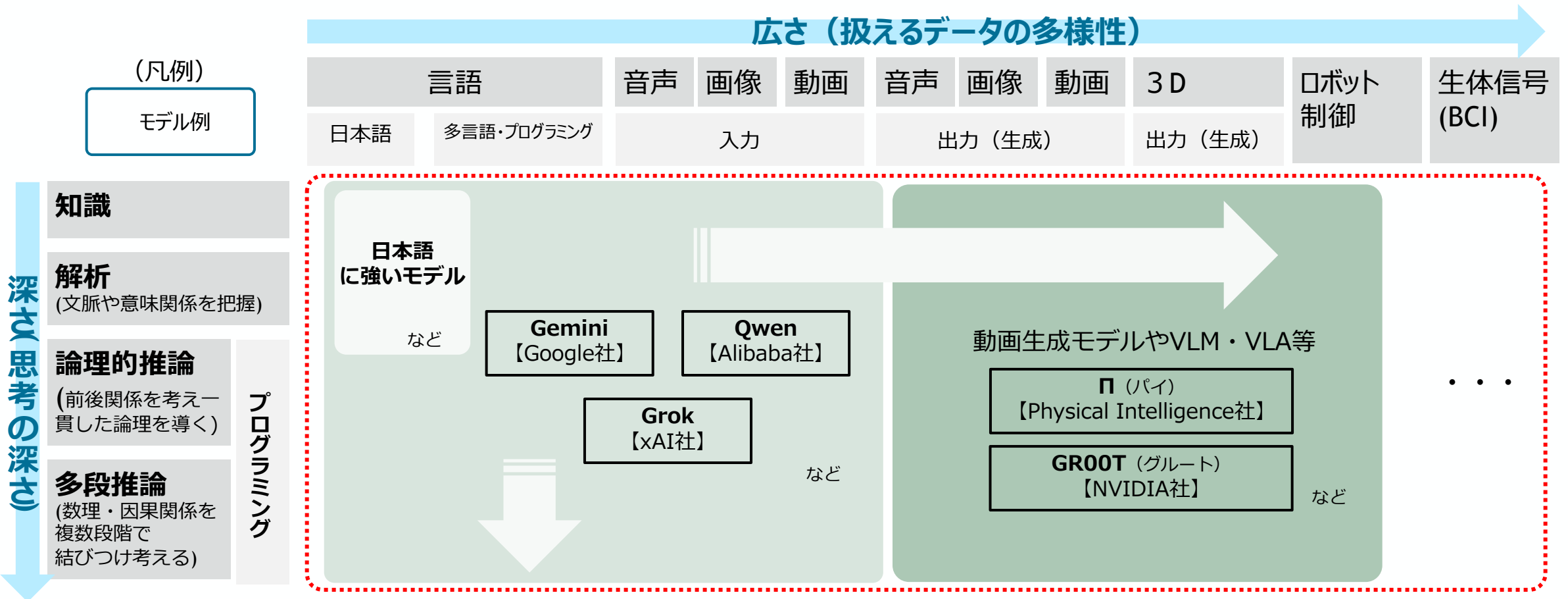
データセットの種類とデータ収集方法	作業者マルチモーダルデータ データ内容 360°ヘッド動画データ（1920*1080解像度、60fps、RGB） 左右ハンド動画データ（1920*1080解像度、30fps、RGB） ヘッド位置姿勢データ（1ポイント×6DoF 同一座標軸） 左右ハンド位置姿勢データ（21キーポイント×6DoF 同一座標軸） 作業情報アノテーション（タスク、サブタスク、オブジェクト） メタデータ（日時、取得作業者、取得デバイス、品質コメント等） 取得デバイス：360°ヘッドカメラ、左右手首カメラ、ARUCOコード ロボットテレオペレーションデータ データ内容 ヘッド動画データ（1280*720解像度、60fps、RGB） 左右ハンド動画データ（1280*720解像度、60fps、RGB） ロボット軸角度データ（軸角度、エンドエフェクター姿勢、グリップ開閉） 作業情報アノテーション（タスク、サブタスク、オブジェクト） メタデータ（日時、取得作業者、取得デバイス、品質コメント等） 対象ロボット：日本製アーム型協働ロボット、米国製セミヒューマノイドロボット(DEXMATE Vega等を予定) テレオペ方式：リーダー&フォロワー、VR等 		
データ収集・提供量	データ収集量：約15,000時間（作業者マルチモーダル12,000時間、対応ロボット3,000時間） データ提供量：約10,000時間（作業者マルチモーダル 8,000時間、対応ロボット2,000時間）		
マルチモーダル基盤モデル開発事業への貢献	・製造現場起点で整備する高品質なマルチモーダル／ロボットデータは、製造業向けロボットAIの事後学習にそのまま活用できる。 ・高精度なハンド位置姿勢を含む作業者データと共同学習用ロボットデータにより、作業タスク特化モデルの開発に直接利用できる。 ・主観視点360°動画・左右手首動画・自己位置情報は、物理環境との相互作用を学ぶ世界モデルの事前学習データとして有用性が高い。 ・本事業は世界モデル向けデータ基盤と現場データ収集エコシステム形成の起点となり、中長期的な基盤モデル開発にもつながりうる。		
データの権利帰属	<table><tr><td><加工前データ> ・模擬環境データ：STATION Ai ・実環境データ：現場提供製造業企業</td><td><加工後データ> ・模擬環境データ：StationAiが設定する利用規約に応じて、広く第三者提供 ・実環境データ：StationAiと現場提供企業とで設定する利用規約に応じて、第三者提供 ※いずれも「マルチモーダル基盤モデル開発事業」採択事業者への提供は担保する</td></tr></table>	<加工前データ> ・模擬環境データ：STATION Ai ・実環境データ：現場提供製造業企業	<加工後データ> ・模擬環境データ：StationAiが設定する利用規約に応じて、広く第三者提供 ・実環境データ：StationAiと現場提供企業とで設定する利用規約に応じて、第三者提供 ※いずれも「マルチモーダル基盤モデル開発事業」採択事業者への提供は担保する
<加工前データ> ・模擬環境データ：STATION Ai ・実環境データ：現場提供製造業企業	<加工後データ> ・模擬環境データ：StationAiが設定する利用規約に応じて、広く第三者提供 ・実環境データ：StationAiと現場提供企業とで設定する利用規約に応じて、第三者提供 ※いずれも「マルチモーダル基盤モデル開発事業」採択事業者への提供は担保する		

AI開発・データ整備支援策の全体像



マルチモーダル化の本格展開（テキストから何でも扱えるAIへ）

- 言語のみならず、画像・音声等多様なデータを広く扱い世界を総合的に理解するとともに、文脈・意図・因果関係を踏まえて自ら深く思考することができるマルチモーダルモデルが次々登場。



知識の深さに相当するベンチマーク例。知識：JAQKET, NIILC（常識応答）、JCommonsenseQA, pfgen-bench（日本語知識）、解析：llm-jp-eval（Wikipedia読解・要約推論）等、論理的推論：MMU-Pro, 等、多段推論：AIME 2025, Humanity's Last Exam等

フィジカルAIの登場（デジタルツインと製造現場の自律・安定制御）

- マルチモーダルな汎用基盤モデルの活用により、高精度なデジタルツイン環境と製造現場の自律・安定的な制御の実現が可能となる。
- 多様なデータを基にサイバー空間で最適なレイアウトプランニングや長期安定的なプロセスシミュレーション等を行い、現実世界へのリアルタイムフィードバックを通じて、自律的に生産の最適化やエネルギー消費の効率化を実現できる。

高精度なデジタルツイン環境の活用イメージ

【現実環境】



製造ラインが自律的に最適化

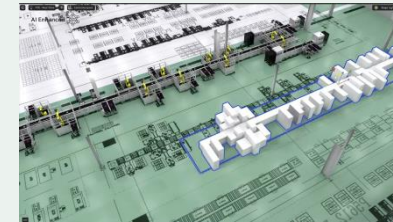
現場の多様なデータと
汎用基盤モデル
を通じて生成

現実世界の産業機械や
AIロボティクス
へフィードバック



【デジタルツイン環境】

（主な活用例）



レイアウトプランニング



材料・設備の物理特性を加味した
プロセスシミュレーション



リモートモニタリングと
フィードバック

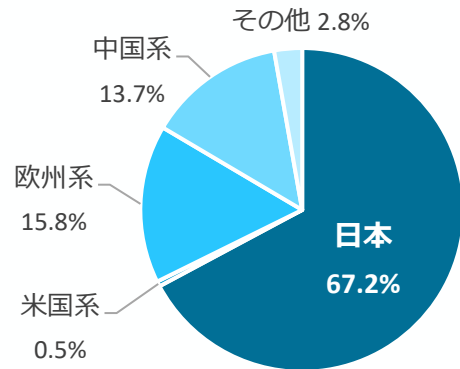


AIロボティクスに必要な
学習データ収集

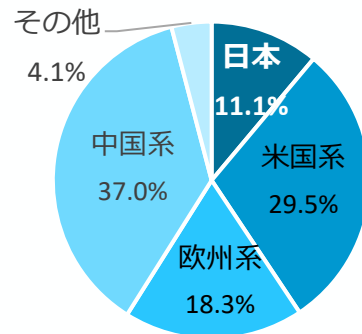
足下のロボット市場の動向

- 我が国は産業用ロボット市場で約7割のシェアを誇るも、近年はシェアが低下傾向。また、製造業以外のサービスロボット市場では米欧中に後れを取っている。
- ヒューマノイドを中心とする多用途ロボット*の世界市場は、2030年頃を境に急拡大し、2040年までに約60兆円規模へ。
*その他、4足歩行型、モバイルマニピュレーターといった形態を念頭に置いている。

産業用/サービスロボットの市場規模



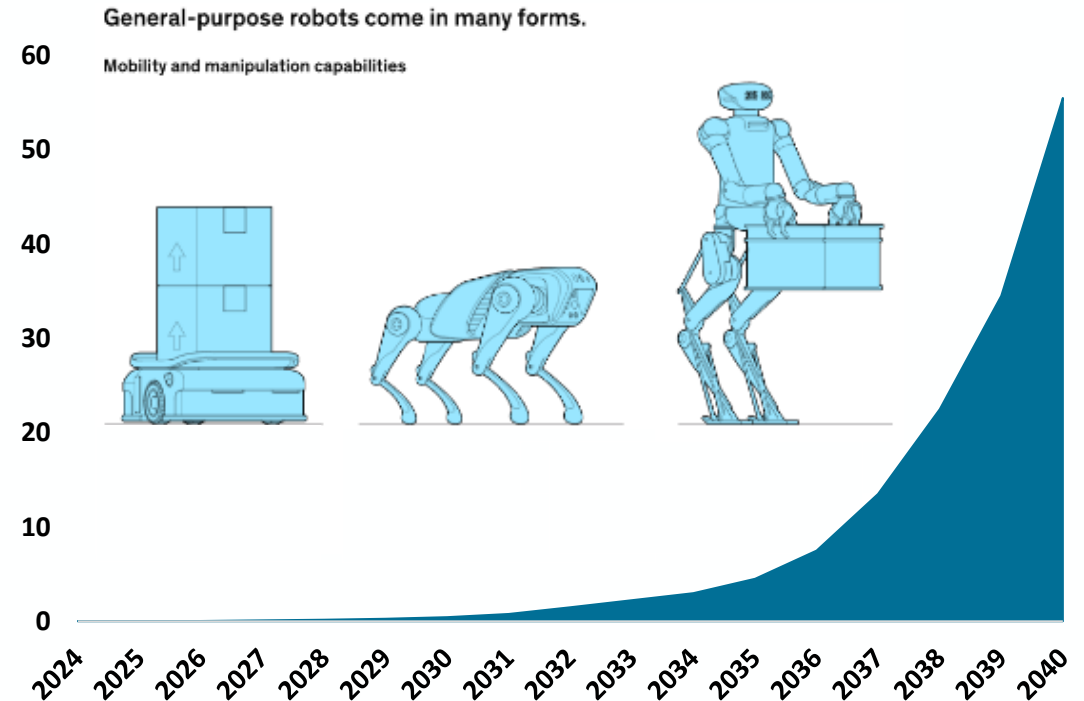
産業用ロボット市場
0.8兆円（2024年）



サービスロボット市場
3.3兆円（2024年）

多用途ロボット市場推移

(兆円)



AIロボティクス戦略の概要

主な対象分野

- 製造業（多品種少量生産）、造船、物流（倉庫・輸配送）、建設・土木、建築、インフラ保守、小売、宿泊業、飲食・食品製造、医療、介護、警備業、農業、林業、廃棄物処理業、災害対応、警察活動、防衛

主な目標

- 2040年に60兆円規模に成長するAIロボット市場において、米中に並ぶ第三極として世界シェア3割超（20兆円）の獲得を目指す。

主要施策

（1）世界最先端のAIロボティクスを実現する頭脳（AIモデル）の獲得

- ロボット基盤モデルとそのベースとなる国産マルチモーダル基盤モデルを開発
- 現場環境等でロボットを運用し、大規模にデータを収集・加工し、モデル開発や改善を行うエコシステムを構築

（2）AIの高度化やSDR（注）の潮流を踏まえた新たなサプライチェーンの構築（注）SDR：Software Defined Robot

- スタートアップからの発展を念頭に、ロボットメーカー育成を総合的に支援
- 重要部品や中核ソフトウェアの設計・開発・製造能力を強化

（3）AIロボティクスの潜在需要の掘り起こしと導入環境の整備

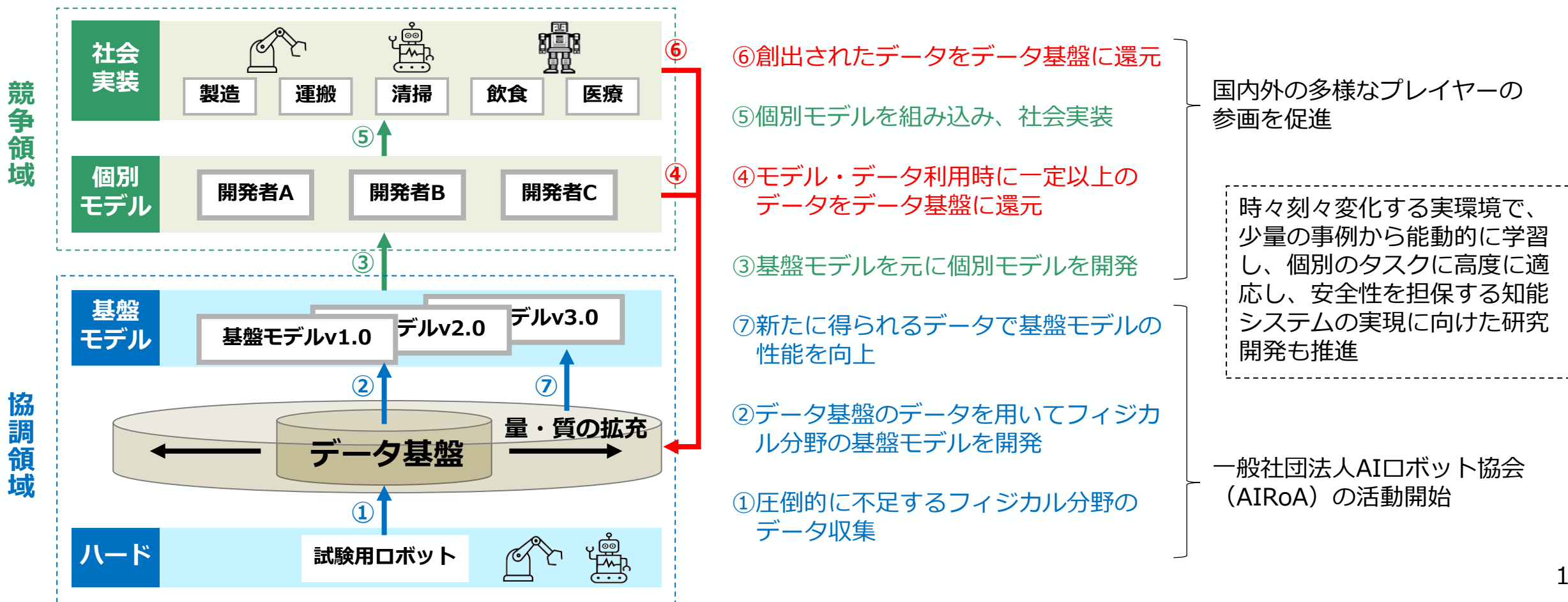
- AIロボティクス実装ロードマップをまとめ、各市場に応じた対応策（データ収集、導入支援、ルール整備等）を措置

（4）世界的なAIロボティクスの中核拠点（Center of Excellence（CoE））の整備

- AIロボティクスの専門家とユーザーが参画しながら、現場に近い環境でデータ収集や人材育成等を行う場を構築

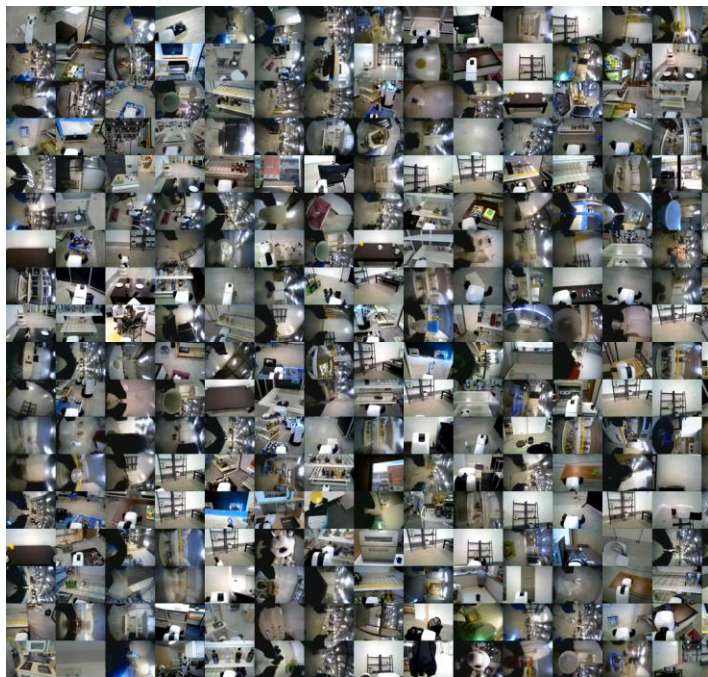
ロボット分野におけるデータ収集とAI開発の促進

- フィジカル分野の基盤モデルにより、従来は難しかった汎用・自律的なロボットの動作が可能に。米中では、プロプライエタリにデータを蓄積し、基盤モデルを開発する動きが加速。
- 日本では、オープンなデータ基盤の成長を加速させることにより、基盤モデルの開発や社会実装を促進する。



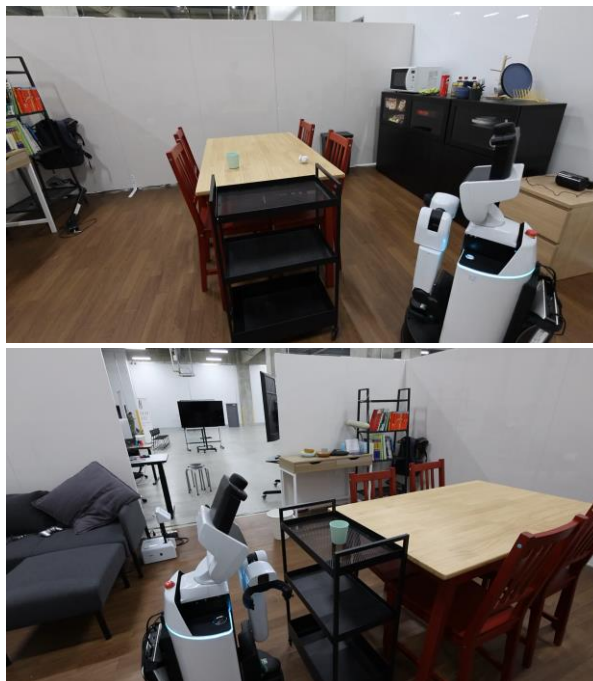
一般社団法人AIロボット協会（AIRoA）の2025年度の実績成果

- VLAを開発するための基盤（データ収集体制・モデル学習手法の開発体制）を構築。
- 事前学習モデル（Pi0.5）を強化する事後学習手法を開発。



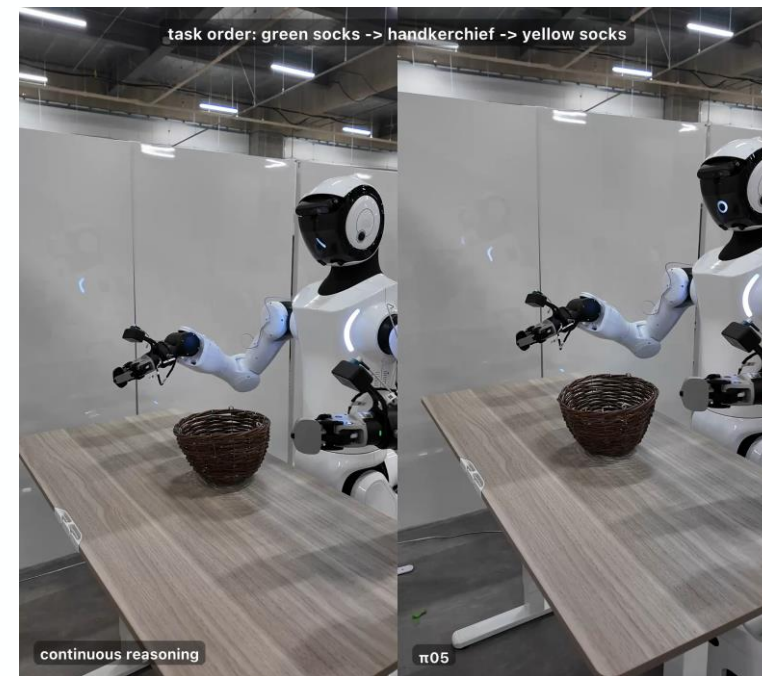
8万時間のデータ収集

HSRを用いて8万時間のデータ収集。
そのデータプラットフォームを用いて
双腕モバイルマニピュレータ（MoMa）
/YUBIデータ収集に活用。



VLM型継続事前学習をMoMaで実証

8-16ノードを用いて一般的に秘匿されて
いるVLAモデルの学習プロセスを解明し
それがMoMaにも有効であることを実機
で実証。

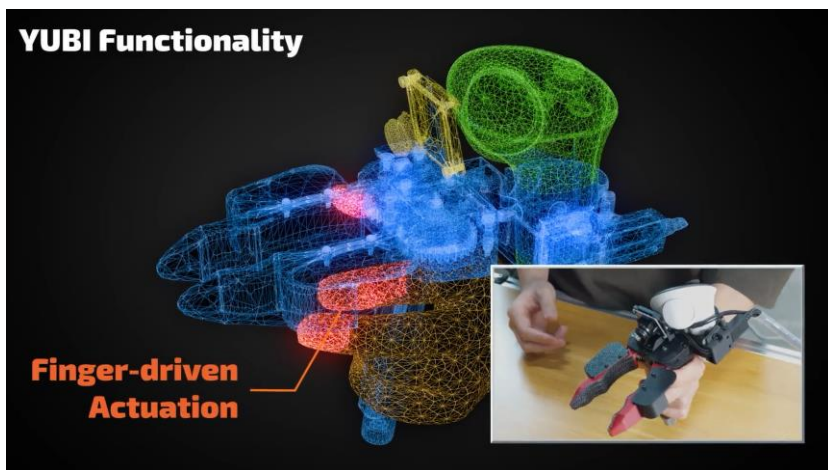


事後学習手法の開発

MoMaでのデプロイを通じて判明したPi0.5
の問題点を改善する新規手法を開発。
一般的なシミュレーションベンチマークと
実機でのデプロイを通して制御性能が向上。

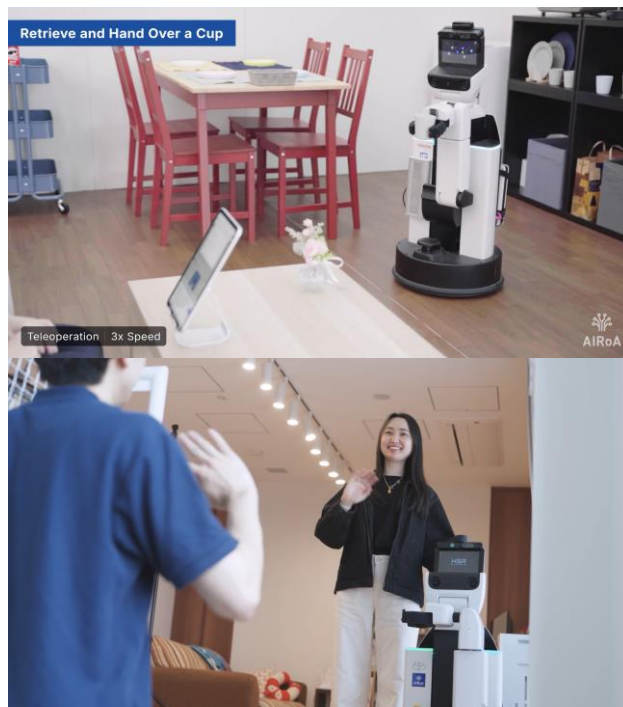
一般社団法人AIロボット協会（AIRoA）の今後の取組

- 事業成果（収集データ・開発モデル）を順次公開。
- 家庭用の汎用モデル開発、国産汎用ロボット開発等を推進。



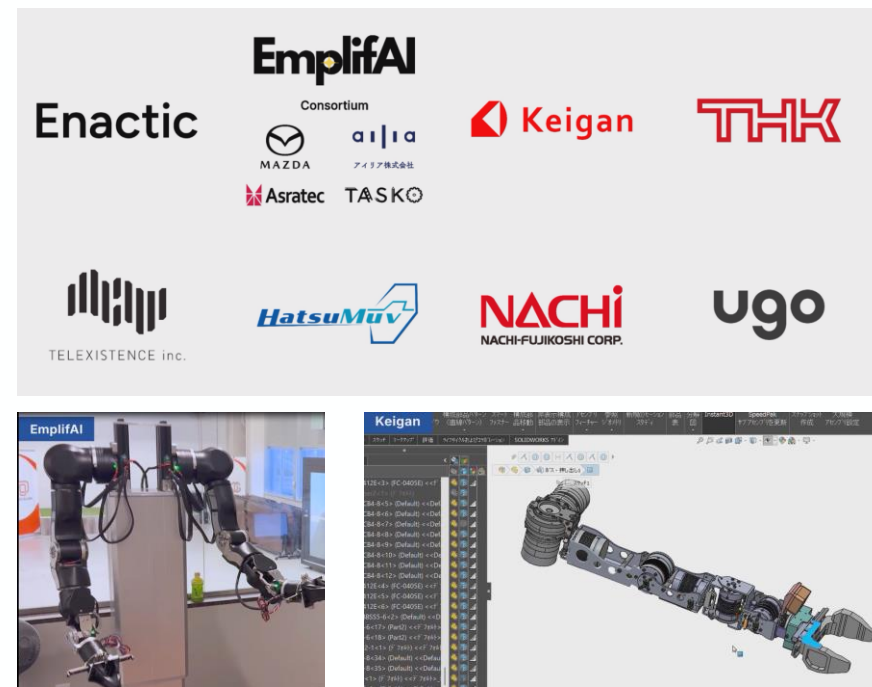
成果公開を加速

近日中にHSRの5,000時間データを公開予定。15,000時間収集し世界最大のYUBI(UMI)のデータセットも公開予定。



家庭環境での実証

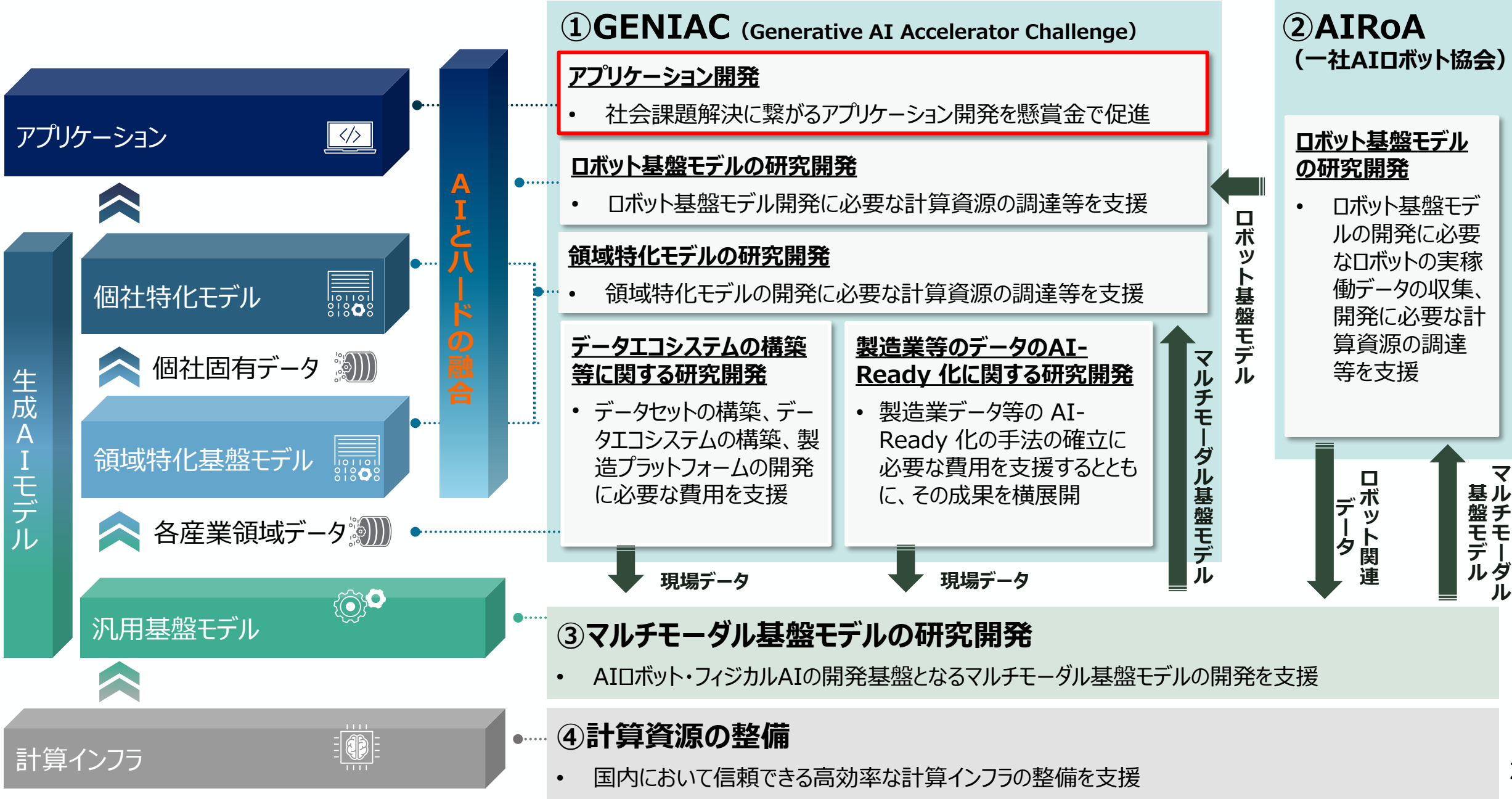
事業成果を活用し、家庭用向けの汎用モデルを開発。科学技術未来館やToyota Woven Cityと連携し、実家庭等におけるロボット動作データ収集開始。



国産汎用ロボット開発

日本のロボット産業の競争力強化を目指し、実用レベルの汎用ロボット（双腕MoMa）の開発コンペを実施中。26年9月目処に試作機の実演イベントを予定。

AI開発・データ整備支援策の全体像



NEDO Challenge

NEDO 懸賞金活用型プログラム



GENIA

PRIZE



想像し、解放し、創造する。

- テーマに応じた具体的なAI関連アプリについて、募集・審査の上、懸賞金を授与。

2025年度 テーマ

懸賞金総額

民

**国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発
(Ⅰ. 製造業の暗黙知の形式知化／Ⅱ. カスタマーサポートの生産性向上)**

- ユーザーが主体となり申請 (AI開発者やSIerと組んだ申請も可能)、ユーザーの変革につながる検証成果を審査

3.5億円

官

官公庁等における審査業務等の効率化に資する生成AI開発

- 特許審査業務をモデルとし、情報探索等を効率化するAIを開発、その性能を審査

2.1億円

安全性

生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発

- AIのリスクや対応策をセットで提案、評価手法の妥当性や波及効果を審査

2.2億円

GENIAC-PRIZE 2025（結果）

民： 国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発

I. 製造業の暗黙知の形式知化

1位 **ダイキン工業株式会社/
Fairy Devices株式会社**
熟練者の代わりに作業者を支援する
AIエージェントの開発

2位 **三菱重工業株式会社
株式会社Algomatic**
Tig溶接技術を例にした熟練者・非熟
練者の作業動画の“比較”アプローチ
による暗黙知の形式知化

3位 **NanoFrontier株式会社**
LLMを活用した実験自動化

地域賞：10件
特別賞：4件

II. カスタマーサポートの生産性向上

1位 **株式会社未来都
newmo株式会社**
タクシー配車業務のAI音声対応

2位 **東洋船舶株式会社
株式会社JDSC**
「船主支援のAI番頭。メールと
社内文書を資産に変える！」

3位 **一般財団法人在宅がん療養財団
株式会社シャルクス**
がん相談エージェント「ランタン」：
あなたは一人ではありません

地域賞：8社
特別賞：4件

官： 官公庁等における審査業務等の効率化に資する生成AI開発

特別賞：4件

安全性： 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発

1位 **NTT西日本株式会社**
生成AIにおけるデータの真正性・
正当性の保護基盤構築 ～IPの
音声等コンテンツ権利保護と消費
者の安全性確保への貢献～

2位 **NTTドコモビジネス株式会社**
日本語特化型AIガードレール
「chakoshi」による包括的リスク
低減と安全な社会実装

3位 **トレンドマイクロ株式会社**
AIエージェントにおける不正なツ
ール実行リスクへの総合的な対策

特別賞：3件

GENIAC-PRIZE 2026 の概要

今年度のテーマ

テーマ1 社会課題

エッセンシャルワーカーの人手不足解消に
資するAIを活用した業務プロセス改革

- ユースケースの開拓・利活用を推進し、
エッセンシャルワーカーの人手不足解消に
資する開発と実証を促進する

テーマ2 人材育成

フィジカルAIに向けた開発者育成 (学生) の
ための公開型の基盤モデル開発

- 計算資源利用が難しい学生のモデル
開発経験を通じて、日本全体の技術
レベル向上に繋げる

懸賞金規模

総額6億円

総額約0.3億円
(他計算リソース等:
約4億円相当)

課題名 | エssenシャルワーカーの人手不足解消に資するAIを活用した業務プロセス改革

課題の内容 | 現場業務における人手依存の高い作業の効率化・高度化が課題

- 急速な少子高齢化による生産年齢人口の減少がエssenシャルサービス業の人手不足を深刻化、経産省試算では最大76兆円規模の経済損失リスクがある
- 一方で、エssenシャルサービス業におけるAIの活用は依然として十分に進んでおらず、生産性向上や付加価値創出の余地が大きい

エssenシャルサービス業※における人手不足の課題解消に資する提案を全国から広く募集し、AIを活用した業務効率化や負担軽減に資するシステムの研究開発・実証提案、センサーやロボティクス等のフィジカル技術との連携も含む業務プロセス全体最適化を期待します。

※エssenシャルサービス業とは、人々の生活に不可欠な物品又は役務を供給する業務と定義し、
エssenシャルワーカーとは、エssenシャルサービス業の従業員と定義します